

令和7年度 富士河口湖町総合教育会議資料

富士河口湖町立教育センター
所 長 渡 邊 敏

1 はじめに

※富士河口湖町立教育センター

○平成17年(2005年)に開設

○目的：研修，研究，開発及び啓発を行い，教育振興，児童・生徒の健全な育成に寄与する。

○設置条例第3条を基本に，8項目の事業を展開



○平成27年度(2015年度)

- ・富士河口湖町中央公民館1階に移転
- ・今年度，11年目を迎えた



2 教育センター設置条例における事業について

第3条 教育センターは，次に掲げる事業を行う

- (1) 教育に関する専門的，技術的事項の調査研究に関すること
- (2) 教育関係職員の研修に関すること
- (3) 教育に関する情報の収集，整理，保管及び活用に関すること
- (4) 教育相談に関すること
- (5) 前各号に掲げるもののほか富士河口湖町教育委員会が必要と認める事項



具体的に9項目の取り組みを行っている

①教育に関する専門的，技術的事項の調査研究に関すること

* **理科・環境教育副読本，社会科副読本の作成**（基本的には4年に一度改定）

令和7年度は社会科副読本の改訂作業の1年目

- ・企画委員会の開催（代表7名） ・編集委員会（各校一人）
- ・専門機関との連携（富士山科学研究所，町生涯学習課文化財担当，世界遺産センター，河口湖フィールドセンター等）

* **富士山学習の充実**（富士山科学研究所，富士山世界遺産センター等との連携）

- ・「河口湖新倉掘抜学習」 ・出前授業
- ・「防災教育プログラム化」

* 新学習指導要領に向けての調査研究

- ・「小学校外国語」「社会に開かれた教育課程」の実現のための支援

②学習開発に関すること

＊地域を生かした体験活動（センターのプログラム）

- ・「木工の学習」：図工３・４年生（西湖野鳥の森公園）（１２回）
- ・「役場見学」：社会科３年生（学校教育課を中心に各課と連携）（６回）
- ・「河口湖新倉掘抜」：社会科４年生（生涯学習課文化財担当）（１１回）

③教職員の研修に関すること

＊町単・期採・代替職員等の研修会（３回）

＊支援員対象研修会（１回）

＊新転入・新採用教職員等の郷土学習会（夏季休業中：町内施設の見学・学習会）

＊スキルアップ講座

- ・外国語研修会（１回）
- ・ICT研修会（教職員への研修１０回）

④教育に関する情報の収集、整理、保管及び活用に関すること。

＊教育センターだよりの発行（月１回）

＊各小中学校の年間計画・教育課程・学校要覧・防災計画等の収集、整理

⑤必要な研究組織の設置と運営に関すること。

＊運営協議会（教育センターの運営について、年に２回検討を行う）

＊富士山学習研究員会（５回）

- ・各学校より１名の協力者を得て、企画運営を行う。
- ・富士山学習の充実に向けての組織的研究

＊特別支援教育研究会（特別支援コーディネーターの連携と研修）（２回）

＊外国語教育研究会（１回）

- ・小学校外国語科・外国語活動、英語教育の小中連携についての研究

⑥教育相談に関すること。

＊令和６年度の相談件数：９７３件（令和７年度１０月現在６３９件）

- ・町 SSW，総合教育相談員等との連携
- ・学校と連携したケース会議の実施
- ・保護者面談の実施

⑦幼保，小，中，高，大・関係機関等との連携に関すること。

＊保小中連携協議会の開催

＊各保育所への訪問（情報交換）

＊町 SSW，総合教育相談員との連携

⑧代替派遣に関すること

＊代替職員の授業派遣：令和６年度：要請１３９回，派遣８０回

令和７年１０月まで 要請７５件，派遣４０件

⑨その他目的達成に必要なこと。 ＊不審者対策

- ・青色灯パトロールカーの巡回時間帯，コース等各学校とりまとめ（町地域防災課との連携）

3 具体的な取り組み（特に力を入れている取組・連携等）

（1）相談業務（教育相談）

① 2024年（令和6年度）の状況について

不登校関係・・・846件	発達相談・・・2件
友人関係・・・4件	性格・行動・・・1件
学習相談・・・1件	問題行動・・・3件
先生との関係・・・4件	心と身体相談・・・1件
進路相談・・・1件	家庭相談・・・5件
卒業生等・・・95件	

合計：973件

② 2025年（令和7年4月～10月まで）の状況について

不登校関係・・・557件	性格・行動・・・1件
進路相談・・・18件	卒業生等・・・63件

合計：639件

③ 10月現在の実績：16名が利用

（小1年：1名 小3年：1名 小4年：3名 小5年：1名 小6年：1名
中1年：2名 中2年：1名 中3年：6名）

※学校と相談を密にして対応していく。（子供を中心に据えて考えていく）

※あくまでも、イニシアチブ（主導権）は学校にある。

教育センターは、相談・支援が役目（学校と家庭をつないでいる。）

※専門機関との連携（町総合教育相談員，SSW，町子育て支援課等）

※ケース会議（支援会議）への参加（必要に応じて）

※保護者相談（子どもの状況，進路等，情報共有，同じベクトルで支援）

（2）富士山学習（防災教育）の充実 ～専門機関との連携について～

① 町立教育センター研究員会（富士山学習研究会）

防災に関する研究授業の実施（河口小学校）

② 中学校区引き渡し訓練への協力

③ ジュニア防災士講座への協力

①町教育センター研究員会（富士山学習研究会）について（研究員は各校1名：12名）

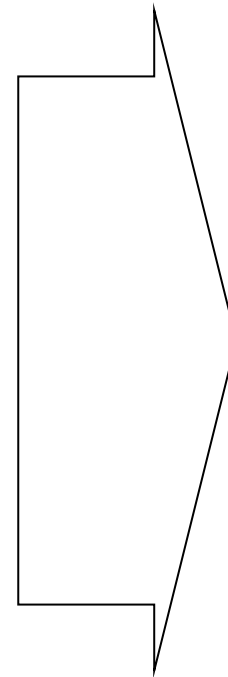
※研究のテーマ

- ・ 世界文化遺産である「富士山」を児童生徒に伝えていくための授業実践をどう進めるか

◎富士山学習研究会ではこの6年間、防災教育に力を入れて研究を進めている

<p>令和2年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ●西浜小防災授業（自然災害・火山噴火） ●防災教育3年間の計画立案 	<p>令和3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ●勝山小親子防災授業 ◇町内の引き渡しマニュアル統一（町教頭会） ◇ジュニア防災士講座（町地域防災課） 	<p>令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ●土砂災害の防災授業（町内5小学校） ●防災教育の教育課程への位置づけ ●富士山と防災に関するアンケート実施 ●勝山小親子防災授業 ◇勝山中学校区引き渡し訓練 ◇防災自由研究作品展（町地域防災課） ◇ジュニア防災士講座 	<p>令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ●溶岩流についての防災授業（小立小） ●溶岩流実験のできる教員の育成と育成のための指導資料作成 ●勝山小親子防災授業 ◇勝山中学校区引き渡し訓練 ◇湖北中学校区引き渡し訓練 ◇勝山中防災教育ワークショップ（富士山研） ◇ジュニア防災士講座
---	--	--	--

<p>令和6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ①溶岩流についての防災授業（小立小） ②溶岩流実験のできる教員の育成とより実践に近い指導資料の作成 ③勝山小親子防災授業 ◇勝山中学校区引き渡し訓練 ◇湖北中学校区引き渡し訓練 ◇防災クロスロードの実施（勝山中） ◇ジュニア防災士講座 	<p>令和7年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ①溶岩流についての防災授業（河口小） ②溶岩流実験のできる教員の育成とより実践に近い指導資料の作成 ◇勝山中学校・湖北中学校区合同引き渡し訓練 ◇湖南中学校区引き渡し訓練 ◇防災クロスロードの実施（勝山中） ◇ジュニア防災士講座
--	--



①溶岩流についての防災授業（河口小）

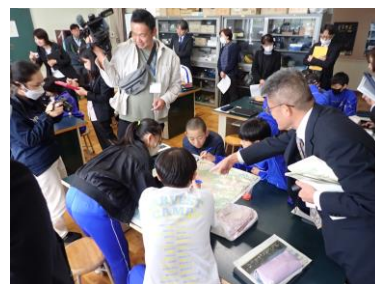


担任は専門家と連携して授業を進める



実験を通して学ぶ

②溶岩流実験のできる教員の育成とより実践に近い指導資料の作成



(6月) 研究者による講義 ⇒ 教材研究 ⇒ 自主研修 ⇒ (10月) 研究授業で実践



実験の前に指導する内容

授業の「つかむ」で、担任が以下の2点について指導を行う

- (1) 溶岩について学ぶ
熱くて流れるのも、冷えて固まったのも溶岩
自分たちの住んでいる地域の足下は溶岩
- (2) 火口について学ぶ
富士山は山頂の火口からだけでなく麓でも何回も噴火したことがある
↓
もし富士山が噴火すると、私たちの住んでいるところに溶岩流が流れてくる可能性がある。



2023溶岩流実験2

指導案や指導資料の検討

実験解説資料を参考

実験解説動画の活用

②中学校区引き渡し訓練への協力について

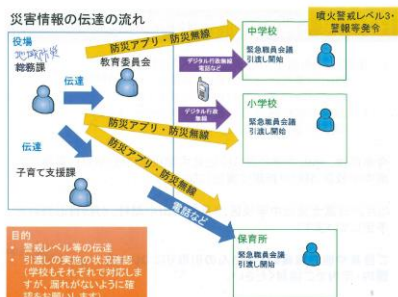
R7年度引渡し訓練の予定

1. 引渡し訓練(富士山噴火警戒レベル3を想定)
 - ・ 勝山中学校区: 5月27日 15時スタート
 - ・ 湖北中学校区: 5月27日 15時スタート
 - ・ 湖南中学校区: 6月13日 14時スタート

今年度は、勝山中学校区(4校)と北中学校区(3校)が同日実施。湖南中学校区(5校)が新規に実施になります。

(5月26日富士見台中学校区、5月30日山中湖村、6月9日忍野村を予定しています)

ご自身や他の職員のお子さんの引取りについても課内・庁内でご確認ください。



引渡し訓練(実際の対応を想定した訓練)

- 引渡し開始:
- ・ 各クラス・学年での引渡し状況を随時確認(30分後、1時間後などの定時確認)
 - ・ 残っている児童・生徒について、きょうだいなどいれば幼稚園、保育所、小学校、中学校間で連絡して状況を共有
 - ・ 人数がある程度減ってきた段階で、小中学生をお持ちの先生方にご自身の子供の引取りを行うことも指示
 - ・ 引渡し完了を教育委員会などに連絡(移動系や電話、連絡用紙(FAX))で



引渡し訓練実施の流れ

1. 中学校区(中学校、小学校、保育所)で訓練実施に関する調整
2. 保護者への通知文書の作成
3. 保護者への事前通知
4. 学校内の対応シナリオを作成(防災計画に基づいた班編成など)
5. 職員会議で対応の確認
6. 訓練実施(ワークシート)
7. 振り回り・保護者アンケート・教員アンケートの実施
8. とりまとめ



引渡し訓練(実際の対応を想定した流れ)

15時(湖南中14時): 噴火警戒レベルがレベル3に引き上げ

- (教育委員会などから入電。)
- ・ 校長先生・教頭先生とで情報を入手・共有
 - ・ 教員を職員室に参集させて、レベルが上がったことを伝達・引渡し対応を指示
- 指示内容
- ・ 児童生徒の安全を最優先。
 - ・ 保護者に確実に引渡す。
 - ・ 保護者に引取った後、安全なところに避難するように伝える。
- ・ 保護者に引渡し連絡
・ 準備ができ次第、引渡しを開始。
(予告の時間通りではなくて準備ができ次第、対応してください)



災害情報の伝達の流れ



勝山小学校



小立小学校



河口湖北中学校



河口湖南中学校

③ジュニア防災士講座への協力について

小学生66名が参加



自然災害についての講義



溶岩を溶かす実験



自衛隊基本動作体験



体験喫食



天幕設営体験



救急車乗車体験



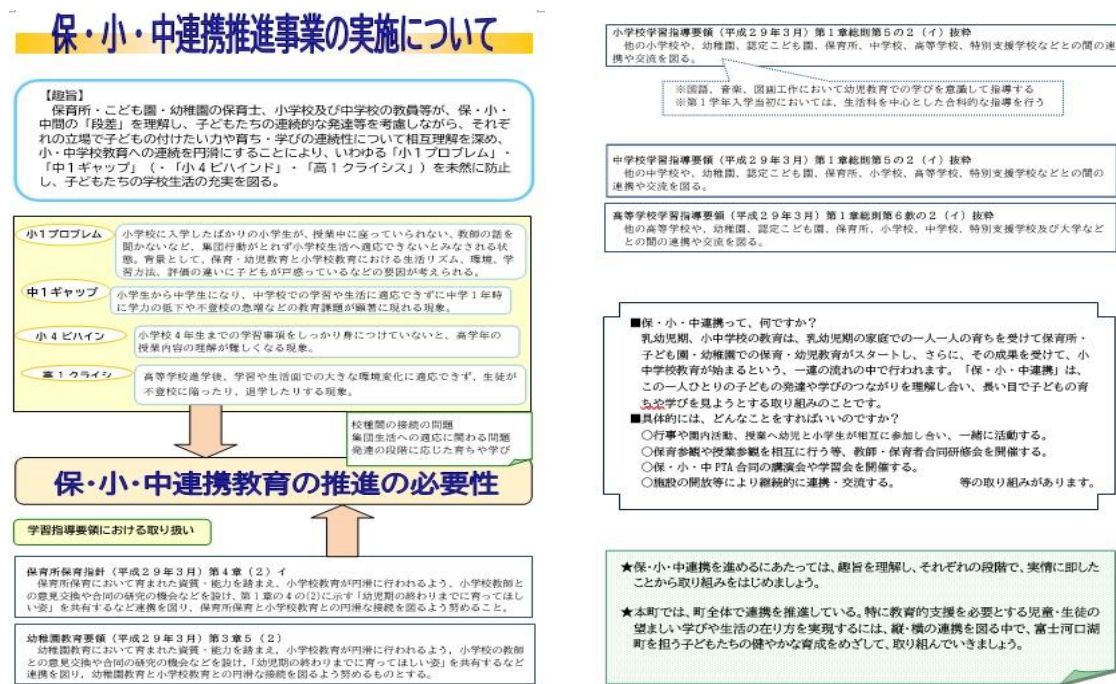
消防車設備



振り返りまとめ

(3) 幼保小中連携の充実

①富士河口湖町保小中連携協議会の開催。事務局：教育センター



中学校区ごとに担当者会議を開催し連携を図っている。

②河教幼年教育研究部会と保育所の連携

- ・保幼小情報交換会の実施（６月１９日(木)）
- ・保育所の視察（８月７日(木)）
- ・幼保小連携接続研修会で町の実践発表（８月８日(金)）
- ・架け橋プログラムの実践と改善(町内で統一したプログラムを目指す)

保幼小の円滑な接続のため
に町行政間の連携

富士河口湖町教育委員会
富士河口湖町立教育センター
河教幼児教育研究部会

2 保幼小情報交換会 R7年度

◇情報交換◇

(0) 小学校区ごとのグループで情報交換

(1) 小学校教諭から

- ・各小学校のスタートカリキュラムの紹介
- ・幼児期の育ちや学びを活かし、小学校生活をつくるための工夫や配慮

(2) 保育士、こども園教諭から

- ・就学にもけて取組や配慮していること

◇学習会◇

- ・「桶を使った遊びをしている3歳児の動画」の視聴
・資質・能力を視点に、どのような姿や育ちが見られるかを学び取る



实践内容

- ◇ 保幼小連携に関わる会議への参加
- ◇ 保幼小情報交換会
- ◇ 保育所、認定こども園への視察
- ◇ 架け橋期のカリキュラム等の作成
- ◇ スタートカリキュラムの実践

3 保育所、認定こども園への視察

◇ A 町立保育所◇

- ・体操、スピーチ、読み聞かせ、制作などの年長児の活動を視察。

- ・小学校のつながりを意識して指導をしている。

- ・時間の余裕がある。
制作が終わらなくても急かすことはしない。



4 ①架け橋期のカリキュラムの作成

[illegible]

やまなし幼
ンターのモ
参考に作成

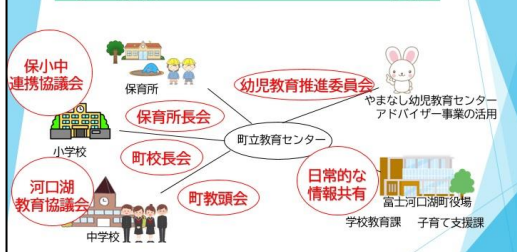
4 ②スタートカリキュラムの作成

[illegible]

4 R8の架け橋期のカリキュラムへの反映

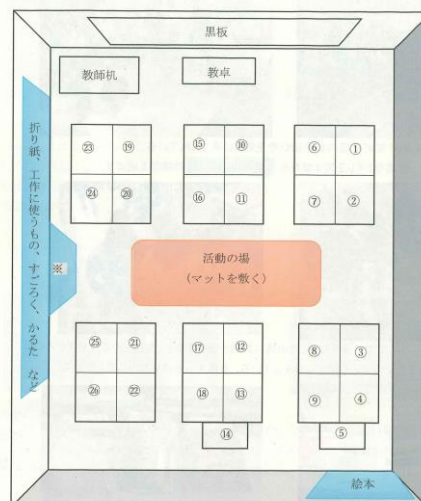
[illegible]

町立教育センターは『つなぎ役』



(2) 教室環境

入学式もこの環境をつくり、保護者にもスタートカリキュラムを周知をした。



(4) 情報教育研修の充実

1. 目的

町内小中学生が ICT 活用能力を継続的, 系統的に習得できるようにするために,
町内小中学校に勤務する教職員に ICT に関する研修の機会を計画的に設ける。

2. タブレット端末研修計画

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
R 4年度		スタートアップ研修 【2時間】 12/27(火)1/10(火)				R 5年度			コア研修前半 【3時間】7/28(金)8/23(水)					
		管理職研修 【40分】 ・校長会 1/16(月) ・教頭会 12/15(木)							スタートアップ研修 【2時間】8/16(水)					
									ミライシード研修 【2時間】8/10(木)					
									OPE 研修 【2時間】8/22(火)					
R 5年度		コア研修後半 【3時間】 12/27(水) 1/9(金)							R 6年度			コアプラス研修 【3時間】8/9(金)8/20(火)		
												スタートアップ研修 【2時間】8/7(水)		
									FigJam 研修 【3時間】8/7(水)					
											Canva 研修 【3時間】8/19(月)			
R 6年度		コア研修後半 【3時間】12/26(木)								R 7年度			スタートアップ 研修 【2時間】8/1(金)	
		コアプラス研修 【3時間】1/7(火)		Canva 研修 【3時間】8/1(金)										
		FigJam 研修 【3時間】12/26(木)		コアプラス研修 【3時間】8/18(月)										
		Canva 研修 【3時間】1/7(火)		学びポケット研修 【3時間】8/18(月)										
		ミライシード研修 【2時間】12/26(木)		コア研修前半 【3時間】8/19(火)										
									ミライシード研修 【3時間】8/19(火)					

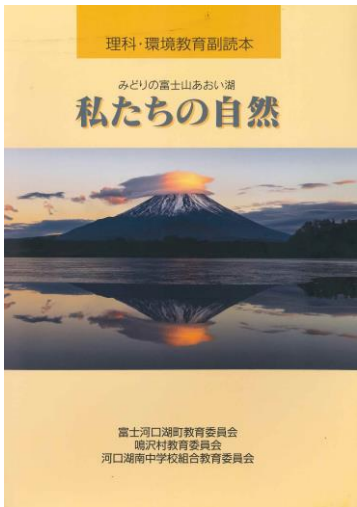

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
R7年度			<div>コア研修後半 【3時間】1/6(火)</div> <div>Canva 研修 【3時間】1/6(火)</div> <div>コアプラス研修 【3時間】1/8(木)</div> <div>Gemini 研修 【2時間】1/8(木)</div>			R8年度					

3. 研修実績（令和4年～令和7年8月まで）

- | | |
|--------------------|------------------|
| ○スタートアップ研修受講者 123名 | ○コア研修受講者 383名 |
| ○コアプラス研修受講者 119名 | ○ミライシード研修受講者 68名 |
| ○OPE研修受講者 17名 | ○管理職研修受講者 28名 |
| ○Canva 研修 105名 | ○FigJam 研修 13名 |
| ○学びポケット研修 27名 | |

○延べ受講者数 883 名

（5）理科・環境教育副読本，社会科副読本の作成

理科・環境副読本	社会科副読本
 <p>発行部数 1063部</p>	 <p>発行部数 1332部</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 5 年～中学校 3 年で使用 ・ 令和 6 年度末改訂版発行 ・ 令和 7 年度～令和 10 年度分の児童数の冊子をまとめて作成 ・ PDF 版を町 HP 上で公開 ・ 令和 9 年度～令和 10 年度改訂作業予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 3 ～ 4 年社会科で使用 ・ 令和 4 年 3 月改訂版発行 ・ 令和 5 年度～令和 8 年度分の児童数の冊子をまとめて作成 ・ PDF 版を町 HP 上で公開 ・ 令和 7 年度～令和 8 年度改訂作業
---	--

4 おわりに

平成 17 年に開設された教育センターは、平成 27 年度に中央公民館へと移転し、町役場の他の部署及び他機関との連携を密にできるため、業務を充実させることができる。今年度も学力充実や新しい教育課題に対応するため、9 項目の事業を展開している。

学校の多忙化を避けつつ必要な業務を行うために、既存の組織や事業との連携を積極的に進めている。先に挙げた富士山学習研究会、保小連携、情報教育研修等は、事業に参加する関係者がそれぞれの役割を果たすことで、負担軽減を考慮しながら成果をあげることができた。教育センターのコーディネートの役割は事業を推進させる上で重要である。

一方、これまで継続してきた事業の充実に加え、今日的な課題への対応としての新たな事業や町教委からの要請による業務等が加わり、教育センターが担う事業は多岐にわたっている。教育センター自身の業務の精選と再構築も大きな課題である。

今後も、教育センターとして何を行うことが児童・生徒にとって必要かを大前提とし、富士河口湖町の教育課題や学校のニーズに応えた事業を行い、現場に生かす教育センターを目指し取り組みたい。